

宮崎市道の駅フェニックス

個別施設計画

令和3年3月

観光戦略課

宮崎市道の駅フェニックス 個別施設計画

目次

第1章	計画の背景と目的	1
第2章	概要	
(1)	対象施設の概要	1
(2)	対象施設の経緯	1
(3)	計画期間	1
(4)	位置図	2
(5)	施設写真	3
第3章	個別施設の状態等	
(1)	対策の優先順位の考え方	4
(2)	個別施設の状態	4
(3)	施設の劣化状況写真	5
第4章	対策の内容等	
(1)	対策の考え方	6
(2)	対策の内容等	6

第1章 計画の背景と目的

本市では、持続可能かつ最適な公共施設経営の実現を目指し、「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」を経営方針とする「宮崎市公共施設等総合管理計画」を平成29年2月に策定したところです。今後は、この計画に基づき、個別施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、「個別施設計画」を策定することとなっております。

「個別施設計画」については、各施設の特性や維持管理・更新等に係る取り組み状況等を踏まえつつ、長期的な視点をもって、長寿命化・建替え・複合化などを計画的に行い、最適な公共施設サービスを提供することにより、持続可能な行政運営の実現を図ることを目的に策定します。

第2章 概要

(1) 対象施設の概要

対象施設	道の駅フェニックス		
所在地	宮崎市大字内海字三池 381 番地 1		
竣工年度	昭和 40 年度	所管課	観光戦略課
敷地面積 (㎡)	48,924.05	延床面積 (㎡)	991.51
主構造	RC・鉄筋コンクリート	階数	3 階

(2) 対象施設の経緯

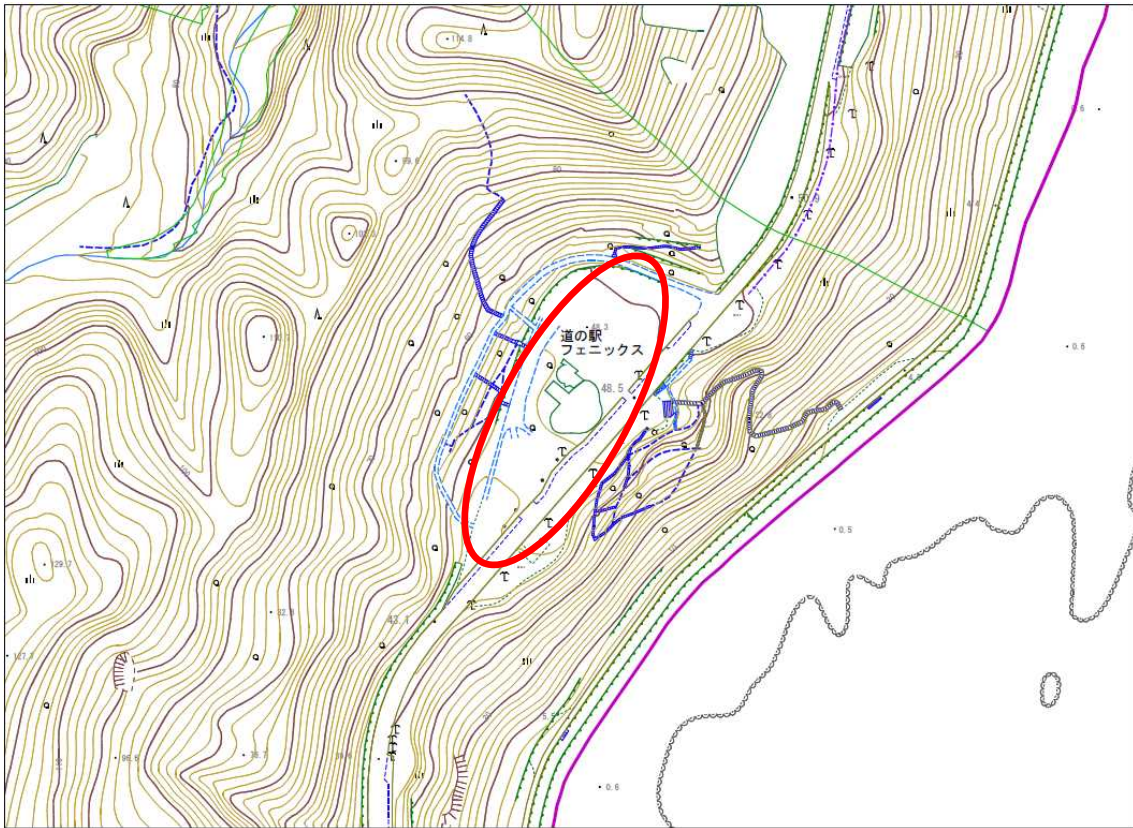
年 度	建 物	構 造	床面積
昭和 40 年度	道の駅フェニックス	RC・鉄筋コンクリート	991.51 ㎡

- ・道の駅フェニックスは、昭和40年に竣工しました。
- ・宮崎市の代表的な観光スポットである堀切峠の魅力を高めるとともに、青島・内海地域の特産品を販売するため、平成15年に食堂・物販用の建物（旧フェニックスドライブイン）を民間から買収し、通行車両の休憩所および特産品の販売所の機能を備えた「道の駅」として、再整備しました。
- ・当該施設の施設運営形態は、平成24年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っています。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は「宮崎市公共施設等総合管理計画」の計画期間に合わせて2021年度（令和3年度）から2027年度（令和9年度）までの7年間とします。

(4) 位置図



(5) 施設写真



第3章 個別施設の状態等

(1) 対策の優先順位の考え方

当該施設の方針として、鉄筋コンクリート造の建物であることから目標耐用年数80年（日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」）とし、施設の長寿命化及び計画的な修繕によりライフサイクルコストの縮減を図ります。

一方、当該施設は、築50年以上が経過し、雨漏り等の施設老朽化が進んでいることから大規模な改修や建て替えなどを検討する時期に来ています。施設の性質としてPFI事業等の民間資金活用の可能性が高い施設であると考えられることから、類似施設の調査等、指定管理者との十分な協議を踏まえ、今後の施設運営の方向性を検討していきます。

計画期間中の施設の維持管理においては、定期的な点検等により施設状況を把握し、施設機能や利用者の安全を最低限確保するための軽微な修繕を実施していくこととします。

【平成16年度改修時建設費】

自然公園等整備費国庫補助金、自然公園等施設整備事業
自然公園ふれあい環境整備事業 活用

(2) 個別施設の状態

調査部位	種類・形式等	定期点検(日常点検)の判定項目	定期点検の判定結果
窓サッシ	窓ガラス	窓ガラスに割れが見られる	ガラスが飛散する恐れがあるので、入れ替えが望まれる
シーリング材の劣化及び損傷	立上部シーリング	シーリングに劣化が見られる	漏水の原因になり得るので、修繕が望まれる
屋上回り	排水ドレン	排水ドレン回りに堆積物が見られる	漏水の原因になり得るので、修繕が望まれる
雨漏り	屋根雨漏り	屋根から雨漏りが見られる	原因を究明し、修繕が望まれる
階段	階段タイル	階段損傷、タイルの欠けが見られる	躓き、転倒の原因になり得るので修繕が望まれる
非常用照明	モニターランプ	非常用モニターランプに点滅が見られる	災害時の避難に支障が出る恐れがあるのでバッテリーの交換を要す

(3) 施設の劣化状況写真



